

研究参加のお願い

当院回復期リハビリテーション病棟へご入院される患者さんへ

このたび十条武田リハビリテーション病院 栄養科では回復期リハビリテーション病棟へ入院される患者さんの診療情報を用いた研究を実施致します。この研究を実施することにより患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。そして、この研究への参加は任意です。研究参加を望まない場合は下記の研究責任者までご連絡下さい。研究に参加しないことによって、不利益な対応を受けることはありません。

研究について

- 研究名：** 栄養療法が回復期リハビリテーションの効果に与える影響について
- 研究の背景と目的：** 回復期リハビリテーション病棟では、主に脳卒中や運動器疾患、廃用症候群の患者さんに対して Activities of Daily Living (ADL) 向上、自宅復帰を目的として集中的なリハビリテーション（リハ）を提供します。一方、回復期リハ病棟では、ADL 向上の遅延や自宅復帰率低下をもたらす原因の一つである、低栄養の割合が高いとされています。2024 年度から低栄養を診断する Global Leadership Initiative on Malnutrition（GLIM 基準）を用いた栄養評価が義務化し、GLIM 基準で低栄養と診断された患者さんには栄養状態改善を目的とした栄養管理を行っています。しかし、GLIM 基準による低栄養とリハ効果の関係についてはまだ研究成果が少ないのが現状です。そこで、当院回復期リハ病棟に入院する患者さんを対象に GLIM 基準とリハ効果の関係について調査します。
- 研究の方法：**
 - 1) 研究対象者
2025 年 3 月 18 日～2029 年 3 月の間に十条武田リハビリテーション病院回復期リハ病棟に入院された患者さんを対象とします。
 - 2) 研究実施期間
本研究の実施許可日～2030 年 3 月 16 日
 - 3) 収集データ
入院時の年齢/性別/主病名/基礎疾患/採血データ/身長、体重、体組成/ADL の評価指標/栄養量
※その他、上記以外にも日常の診療において得た情報を用いることがあります。
- 研究に関する資料・情報の開示について：** あなたのご希望があれば、他の参加者の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画及び研究方法についての資料を開示いたします。研究責任者までお問合せ下さい。
- 研究成果の取り扱い：** この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌などに発表する可能性があります。発表する場合は研究参加者の方のプライバシーに慎重に配慮しますので、個人を特定できる情報が公表されることはありません。
- 研究責任者および問い合わせ先：**
 - 1) 研究責任者 管理栄養士 岡本 梢
 - 2) 研究組織 医療法人財団医道会 十条武田リハビリテーション病院 栄養科
連絡先 075-671-2351（当院代表）